インカ・電波障害防止対策スリング 取扱説明書

TAIYO SEIKI IRON WORKS CO., LTD.

1 はじめに

ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよくご理解頂いたうえで、インカ・電波障害防止対策スリングをご使用ください。
（以下総称する場合はスリングという）また、必要と思われる部署や現場には必ず配布し、必要な場合にはいつでも参照できるようにしておいてください。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いと考えられる場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が考えられる場合。

◆ 尚、『注意』に記載した事項でも、取扱い方法によっては、『危険』と同じ状況になる場合があります。

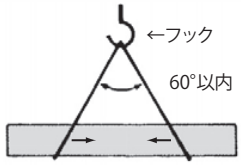
2 ご使用にあたって

⚠ 危険

●スリングは、使用状況に合った適切なものを選定し、使用してください。

●スリングは、吊り上げ荷重、吊り方、吊り角度等を確認のうえ、最大使用荷重、形式、長さ等、適切なスリングを選定してください。
荷の吊り方、吊り角度により、裏面【別表】の通り使用荷重が変化します。ご注意ください。決して荷重超過で使用しないでください。
なお玉掛け作業は法定有資格者が行うよう定められていますので、遵守してください。

●使用温度は、100℃以下とし、常温（-30℃～50℃）を超えて使用する場合は、弊社までご相談ください。



●荷を吊り上げる際は、適切なフックを使用してください。
フックは表面が滑らかで接触面のへりは丸く削ってあるものを使用してください。

●スリングを2本以上使用する場合、荷を吊り上げるとき横滑りが発生する事があります。
吊り角度はできるだけ60°以内にしてください。

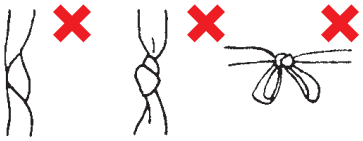
●スリングを放り投げたり、地面や粗い表面上で引きずったり、荷の下から無理やり引き抜いたりしないでください。
また、荷をスリングの上に置きっぱなしにしないでください。スリングの損傷の原因になります。

●吊り荷を急に引っ張ったり、ショックを与えたりしないでください。荷の上げ下ろしはゆっくり行い、吊り荷の下へは絶対にはいらないでください。

●化学薬品（酸・アルカリなど）の雰囲気内では使用しないでください。

●スリングが濡れた状態、又は雨の日は使用しないでください。

●荷を吊ったままで長時間の放置はしないでください。



●スリングはねじれた状態で使用しないでください。
また、結び目のあるもの、２本以上のスリングを結んだ状態のもの、
互いに引っ掛けた状態では決して使用しないでください。

●点検の結果、廃棄することになったスリングは、補修したり使用荷重を
減らすなどして再使用しないでください。

⚠ 注意

●その他特殊な状態で使用するときは、弊社にご相談くださいますようお願いします。

●玉掛け作業中、スリングと荷の間や荷と地面の間に手や足等を挟まれないよう十分注意して作業を行ってください。

●玉掛け作業中、本来の玉掛け位置以外にスリングが引っかからないよう十分注意して作業を行ってください。

●スリングは繊維製ですので色落ちや、使用状況や保管環境などによって、寸法変化する場合があります。

3 保管にあたって

⚠ 注意

●使用期間が容易に確認出来るよう、管理台帳や管理番号により使用開始時期を明確にしておいてください。

●スリングを使用しない場合は、太陽光、紫外線などの影響を受けず、清潔でよく乾燥し、よく換気された温度が均一の部屋の中で、熱源、薬品、溶剤から離した非腐食性の棚などに置いて保管してください。

●スリングの保管前に使用時起こりえた損傷の有無を調べてください。損傷が認められたスリングは、裏面の点検基準により廃棄してください。

●スリングが汚れた場合は中性洗剤を使用して冷水で洗ってください。

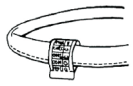
4 点検にあたって

⚠ 危険

●ラベルにより最大使用荷重が確認できないものは使用しないでください。

●点検の結果、廃棄することになったスリングは、その場で切断して完全に使用できない状態にしてから廃棄してください。

●このスリングはコーナーパットを使用しています。
コーナーパットを移動させて隠れている本体部分及びコーナーパット自体も点検してください。



●スリングは少なくとも使用ごとに適切な点検を行い、具体的には裏面の点検基準により継続使用可能かどうか確認してください。

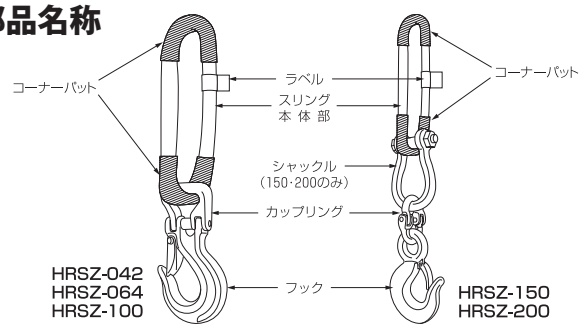
点検及び廃棄基準表

●電波障害防止対策スリングは、日常点検及び定期点検を行って使用してください。

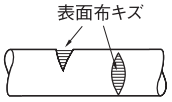
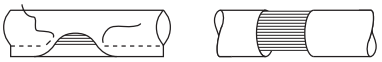
[日常点検] 使用前に行う点検をいう。
[定期点検] 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、原則として1ヵ月ごとに行う。

●点検項目、点検方法及び廃棄基準は下記の通りです。

部品名称



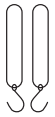
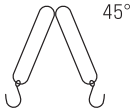
【スリング部】

点検項目	点検の種類 日常	点検の種類 定期	点検方法	廃　棄　基　準
表面布の損傷	○	○	目視	アイ、本体部などの表面布が破損して、芯体が確認できるもの。 
接合部及び連結部の縫糸の損傷	○	○	目視	表面布の接合部及び連結部の縫糸がほつれて、芯体が確認できるもの。 
その他の外観異常	○	○	目視	①アイ、本体部などの表面布に、摩擦、熱、薬品などによる著しい毛羽立ち、変色、着色、溶融、溶解、腐食などの異常が認められるもの。 ②汚れが著しいために、使用可否の判定ができないもの。
芯体の異常	○	○	感触	芯体が部分的に硬くなって、太さの不均一さの目立つもの。
使用期間	−	○	管理台帳、表示などの確認	スリングの使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、次の使用期間を越えるもの。 ・屋内で使用する場合　使用開始後７年を経過したもの。 ・常時屋外で使用する場合　使用開始後３年を経過したもの。

【金具部】

点検項目	点検の種類 日常	点検の種類 定期	点検方法	廃　棄　基　準
変形・きず 亀裂・腐食 アークストライク 刻印	○	○	目視	・元の寸法より変形しているもの ・曲がり、ねじれ、ゆがみなどが認められるもの ・著しい当たりきず、切欠ききずなどが認められるもの ・亀裂が認められるもの ・全体に腐食が認められるもの、又は局部的に著しい腐食のあるもの ・アークストライクがあるもの ・刻印（メーカー名、等級、使用荷重など）が読み取れないもの
摩耗	−	○	計測	・摩耗量が、元の寸法の 5%を超えるもの
亀裂	−	○	磁粉探傷	・目視によって亀裂の疑いがあり、点検方法に定められた方法で、亀裂が認められるもの

【別　表】　インカ・電波障害防止対策スリング　使用荷重表

吊り方	ストレート吊り	2　本　吊　り		
				
つり角度	—	$\alpha \leqq 0$	$\alpha \leqq 45$	$45 < \alpha \leqq 90$
モード係数	1	2	1.8	1.4
使用荷重（t）				
HRSZ-042	4.2	8.4	7.5	5.8
HRSZ-064	6.4	12.8	11.5	8.9
HRSZ-100	10	20	18	14
HRSZ-150	15	30	27	21
HRSZ-200	20	40	36	28

大洋製器工業株式会社　〒550-0023　大阪市西区千代崎1-11-1
https://www.taiyoseiki.co.jp/

製品に関するお問い合わせはホームページより、ご連絡頂けますようお願いいたします。

管理番号:7206-45698